

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A（対象地域の概要）

No.118		田辺の硬葉樹林	生物地理区分		シイ・カシ萌芽林		
			地域区分		中山間地		
所在地	都道府県	和歌山県	地形条件	○ 1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地	
				4.低地	5.その他		
	市 町 村	田辺市、白浜町一帯	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田	
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池	
	集落名称等			7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
				10.その他			

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの ○:それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
都道府県立自然公園	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
里山環境:ナンキウラナミアカシジミ、クロシオキタシバ、エゾヨツメ等	

	
写真の説明: ひこばえの成長に配慮した伐採「択伐」地	写真の説明: 択伐後5年経過した山再生したウバメガシが優占している。

No.118		田辺の硬葉樹林	取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	和歌山県		2.団体・企業・学校等
	市町村	田辺市、白浜町一帯		○ 3.行政による支援施策の活用
	集落名称等			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他

取組 主体	主な主体の名称		製炭業者		
	その他の主体の名称		和歌山県，田辺市		
目的 ●：主 ○：その他	○	1. 農林業を通じた里山や草地の利用（管理）の維持・活性化（伝統的なものも含む）			
		対象・取組内容	紀州備長炭の生産が現在も続けられており，ウバメガシの優占する里山林（硬葉型里山林）が活用されている。本来の意味での里山林が存在している。 ウバメガシは常緑広葉樹の一種で夏季に雨の少ない場所で育つ硬葉樹。苗木から炭材として最高の品質になるまで約 30 年を要することから、ひこばえの成長に配慮した択伐を行い、成長の早い他の樹木等に覆われ日光を遮られることのない伐採手法に取り組んでいる。		
		支援措置	住みよい山村集落総合対策事業(和歌山県) 山村地域力再生事業(田辺市)		
	●	6. 里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承			
		対象	生活行事		和歌山県の無形民俗文化財に指定（製炭技術）
			資源利用技術	*	紀州備長炭の生産
その他					
	取組内容	紀州備長炭は、ウバメガシを原料に作られる固くて良質な白炭（はくたん又はしろずみ）で、料理の加熱・焼き物には最適の材料である。 和歌山県は日本一の白炭の生産量を誇っており、年間約 1,700 トンを生産している。			
連携・協働による取組 内容・役割分担等		製炭業者：資源循環に配慮したウバメガシ林の利用、備長炭生産 和歌山県、田辺市が連携して択伐への取組を奨励している。			
取組の特徴や強調したい点		備長炭生産によって維持されている伝統的里山。 備長炭の生産のために硬葉型里山林として維持されているのは和歌山県と高知県のみである。			

取組の概要	硬葉樹二次林における、炭焼き技術の継承	課題グループ ● 農林業 ● 景観文化 ● 手法
事例の特性	伝統的な資源利用・管理手法の継承(薪炭林)	
取組の中で他の地域の参考となる点	ウバメガシ等の硬葉樹の里山から備長炭を生産。伝統的な炭焼きを実施している。	

資料: 和歌山県 HP